

# やまなしの系統豚「フジザクラDB」の作出

**【特徴】**

- ・系統豚「フジザクラDB」は、平成17年から7年の歳月をかけて作出され、デュロック種とバークシャー種を基礎豚として合成した雄系の系統豚。
- ・「フジザクラDB」を肉豚生産の際、LW種雌豚に掛け合わせる種雄豚として用いることにより、筋肉内脂肪(サシ)が入りやすく、保存時の肉汁の損失(ドリップロス)が極めて少ない。

**【活用が見込まれる分野】**

高品質な豚肉生産

**【成果】**

山梨県の銘柄豚肉「甲州富士桜ポーク」の生産

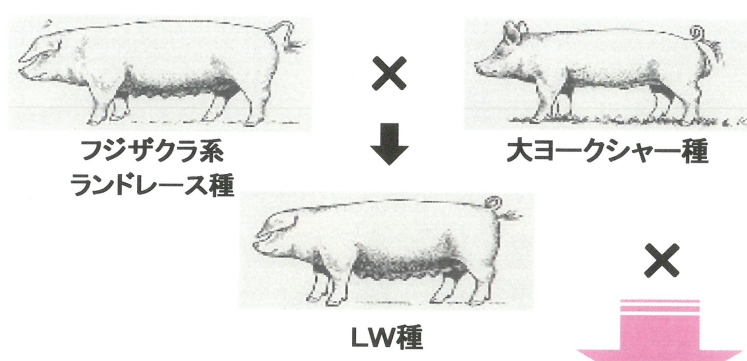
生産農家数 : 5戸  
認定頭数(H28年度実績) : 8,082頭

**【内容】**

平成17年2月、本県の姉妹州である米国アイオワ州や国内から優良な種豚を導入し、7年の歳月をかけて作出

TOKYO-Xに次ぐ、国内2例目の合成豚

本県の銘柄豚肉「甲州富士桜ポーク」生産において、種雄豚として活用



※系統豚とは  
お互いに一定以上の血縁関係を持つ豚の集団で、(一社)日本養豚協会の認定を受けたもの。

